

モデル事業の目的

- サング礁生態系保全行動計画の重点課題に関連する地域主体の取組をモデル事業として環境省が支援することにより、地域の取組を後押しするとともに、そこで得られた知見を他の地域に展開していくことを目的とする。

第3期の行動計画におけるモデル事業概要

- 第3期の行動計画2022-2030では、伊良部・下地島、壱岐島の2カ所でモデル事業を実施。
- 今年度は両地域の関係者と実施内容等の打合せや情報収集を進めた。
- なお、第2期の行動計画2016-2020では、喜界島、与論島、石垣島米原海岸の3カ所で実施。

壱岐島

「壱岐のサンゴ礁を護る会」の活動を支援し、壱岐におけるサンゴの認知の向上とサンゴの保全のための地域の連携促進

関連する重点課題

重点課題 1

サンゴ群集に関する科学的知見の充実と継続的モニタリング・管理の強化

重点課題 2-3

地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築



壱岐島・黒崎のサンゴ

伊良部島・下地島

伊良部島下地島小中一貫校の地域の暮らしとサンゴのつながり教育カリキュラム開発支援



関連する重点課題

重点課題 2-3

地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築

総合的な学習の時間のカリキュラム案

背景

- 壱岐・対馬はサンゴ礁地形が観察される北限の場所であり、特に壱岐のサンゴ礁は規模が大きい。壱岐のサンゴ礁は約3000年前に形成されたとされ、現在もキクメイシやキッカサンゴなどのサンゴ礁が観察される。
- 壱岐のサンゴ礁は生物学的に貴重である一方、認知度はあまり高くない。
- 壱岐では、2022年に任意団体「壱岐のサンゴ礁を護る会（代表：山川修氏）」が設立され、壱岐の自然への理解と保全活動が始まっている。そこで、壱岐のサンゴ礁を護る会を主体としたサンゴ保全の取組みを促進するためのモデル事業を行う。

モデル事業の目的

- 壱岐におけるサンゴ情報の整備とサンゴの重要性の認知向上
- サンゴ保全のための地域の連携を促進し、多様な主体の協働による保全活動の推進を支援

令和7年度の進捗状況

①地域の関係者との打合せ

- 壱岐のサンゴ礁を護る会、長崎県自然環境課、壱岐市地域振興部観光課、地元小学校（沼津小学校）、まちづくり協議会との打ち合わせを行い、モデル事業の目的等を紹介し、今後の連携を依頼した。

→地域の連携の促進を目指す。

②サンゴの情報整備

- 専門家（国立環境研究所 山野先生 等）から情報を提供いただきながら、サンゴの分布や種組成等に関する基礎的データの取りまとめを実施中

→サンゴの認知度向上と保全促進のため、自然共生サイトの認定を目指しており、申請の際の基礎情報に活用する。

背景

- 下地島の唯一の学校である宮古島市立結の橋学園（小中一貫校）においては、「総合的な学習の時間」の一環として、地域の文化の継承やサンゴについての学習（環境学習、体験）等を通じて、自ら考え、地域の課題解決につなげることのできる考え方を養成することを目的としたカリキュラムが導入されつつある。
- このようなサンゴについての学習を組み込んだカリキュラムは全国でも例は多くない。
- 沖縄県事業により発足した「伊良部島・下地島サンゴ礁保全再生地域協議会」がこうしたサンゴ学習について学園と連携を開始したところ。
- 一方で、結の橋学園の生徒のサンゴの体験学習などの機会は、これまで養殖サンゴの植え付け体験や地域の海岸の歴史の学習など、まだ限られた範囲にとどまっている。
- サンゴ保全への関心やサンゴを中心としたさまざまな海域の自然環境を理解し、自ら考え、課題解決の行動に移していくためには、今後さまざまな体験を通じて、サンゴやサンゴ以外の沿岸生態系について広く学習の幅を広げていく必要がある。

モデル事業の目的

総合的な学習の時間の体系だったカリキュラム作成の支援：

- 児童・生徒がサンゴ礁生態系やそれに根ざした地域の歴史文化、産業について関心を深め、サンゴ礁のある地域を大切に思う気持ちを育み、生物多様性及び自然環境保全への関心を高めるとともに効率的な学びに繋がることを目指して、**総合的な学習の時間の体系だったカリキュラム作成を支援**する。

地域の企業、地域活動の活発化

- 総合的な学習の時間による様々なプログラムの実施を通じて、**地域の大人（企業や生徒の保護者など）も巻き込んだサンゴを中心とした環境保全活動の実施と普及啓発。**

令和7年度の進捗状況

- 野外における生物観察、学習の実施可能性の把握

➡ 今後、海岸での生物観察、図鑑づくりなどの学習の実施へとつなげることを目指す。

The central map shows Iriomote Island and Shimajiri Island with seven numbered observation points (1-7) and various landmarks. Yellow arrows point from the map to inset photos illustrating the research activities at each location.

- 1 佐良浜港**: サンゴの養殖 (Coral cultivation) - Photo of blue coral cultivation tanks.
- 2 長山港**: サンゴの移植・経年観察 (Coral transplantation and long-term observation) - Photo of a coral reef.
- 3 渡口の浜**: 海浜植生、生き物観察 (Beach vegetation and organism observation) - Photo of a person observing a crab on the beach.
- 4 曲元の浜**: 微小貝、漂着種子などの観察 (Observation of small shells, drifting seeds, etc.) - Photo of small shells on a beach.
- 5 カヤツファ(中の島海岸)**: サンゴ骨格の観察、島の成り立ち (Observation of coral skeletons, island formation) - Photo of a rocky coastline.
- 6 佐和田の浜**: サンゴやサンゴ礁の生態系の学習 (Learning about coral and reef ecosystems) - Photo of a coral reef.
- 7 白鳥崎**: 海草藻場の生物観察 (Biological observation of seaweed fields) - Photo of seaweed on a sandy beach.

Other landmarks on the map include: 学園 (School), フナウサギバナタ (Funausagibana), ウスヌスプー (Usumuspu), 牧山展望台 (Makayama Observation Deck), 池 (Lake), and 下地島 (Shimajiri Island).

令和7年度の進捗状況（つづき）

総合的な学習の時間の体系だったカリキュラム作成を支援

相談事項

- 安全面への配慮事項
- 学習内容の相談
- 野外活動と屋内活動のバランス、実施体制
- 学年ごとにステップアップする学習内容

令和8年度以降の予定

①サンゴ体験学習の実施、フィジビリティ検証

- 伊良部島・下地島、または宮古島における海域のサンゴ観察の実施
- サンゴ体験学習を通じた課題抽出、実施体制等のフィジビリティの検証

<その他の活動例>

- ・ 佐和田の浜における海草藻場生物観察・学習
 - ・ 養殖サンゴ体験、移植されたサンゴの経年変化の観察
 - ・ 漂着ゴミ等の観察、海流などの考察
 - ・ 海岸の生物多様性学習（貝殻、海岸生物の採取、海浜植生など）
 - ・ サンゴの骨格観察と島の成り立ち学習
 - 協議会及び結の橋学園と協働して、結の橋学園における3年生～9年生の総合的な学習の時間の体系だった学習内容の精査、充実
- ### ②地域の企業、地域活動の活発化
- 学園実施のカリキュラムを通じた、企業・地域の環境保全活動の実施